

第3学年 社会科学習指導案

日時 令和5年6月15日(木)

第5校時 13:40~14:25

対象 第3学年1組 26名

授業者 主任教諭 関根 夕紀

会場 3年1組 教室

- 1 単元名 「わたしたちのまち みんなのまち」
小単元名 「市の様子」

2 小単元の目標

市の様子について、都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、観察・調査したり地図やインターネットなどの資料で調べたりして、白地図などにまとめることで市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの市の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図やインターネットなどの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図や文などにまとめ、市の様子を理解している。	① 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見いだし、市の様子について考え表現している。 ② 場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連付けたりして考え、適切に表現している。	① 市の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 指導観

(1) 単元観

本小単元は、小学校学習指導要領(平成29年7月告示)第2章 第2節 社会 第2 第3学年の目標(1)(2)(3)及び内容(1)に基づいて設定した。

第3学年の目標

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考えが学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

内容

(1) 身近な地域や市区町村の様子について、学習問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること

(ア) 身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解すること。

(イ) 観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること

(ア) 都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用の、交通の広がり、市役所などの主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現する。

本小単元では、学習問題を立てたのち、「土地の高さや広がり」「土地や使われ方」「交通の様子」「公共施設」「古くから残る建造物」など、市を横断的に視点ごとに調べ、学習を展開する。市の様子を視点ごとに調べ、それらを重ね合わせて、広がり、時間、関係性など市の様子を大きく捉えていくことが重要である。また、視点に合わせて効果的に地図記号を学習し、地図記号が身近でない土地の様子を捉える手がかりとなることを理解させるようにする。

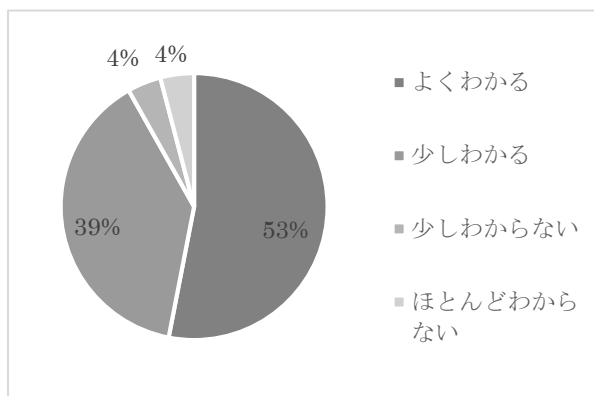
(2) 児童観

令和5年度 「学習に関するアンケート調査（第3学年）」の結果分析

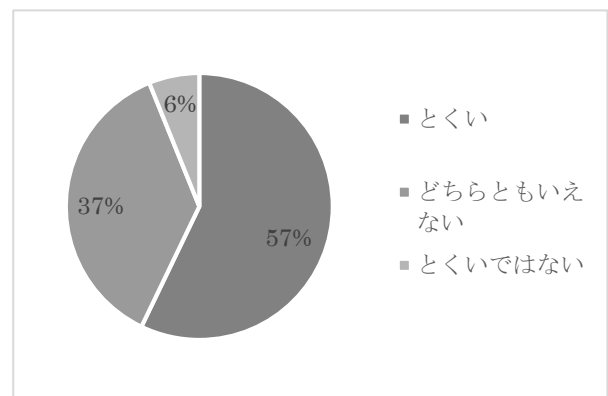
対象：第3学年 51名 方法：Microsoft forms

下のグラフは、「社会の学習はよくわかりますか」、「しゃかいはどのくらいとくいですか。」についての児童の回答を表したものである。

4. しゃかいの学習はよくわかりますか。



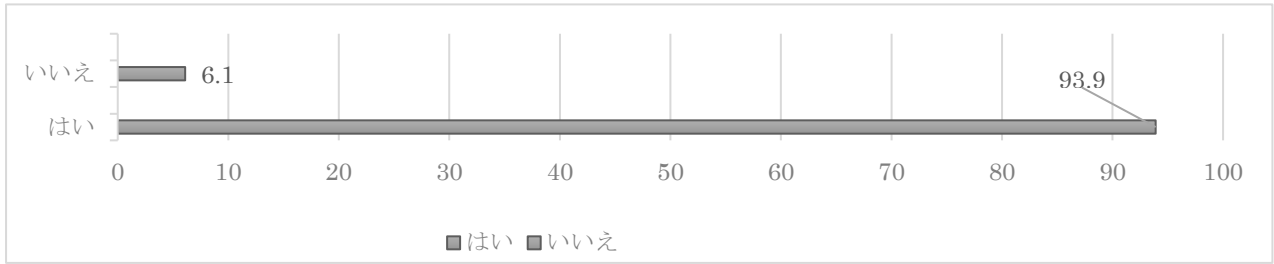
9. しゃかいはどのくらいとくいですか。



このアンケートを実施した時期は4月であり、教科書等を用いて、これから学習していく見通しをもった段階であった。この結果から、本校の3年生は、社会科とは何を学習する教科なのかを捉えきれていないのではないかと考えられる。

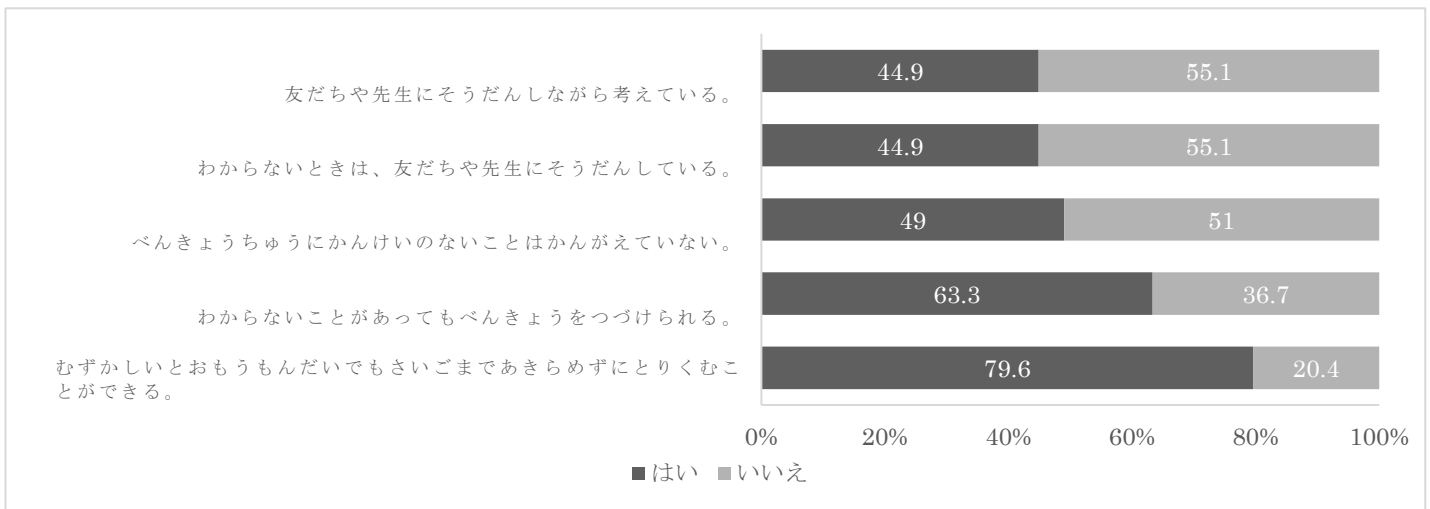
10. どうして勉強をするのだと思いますか。

しょうらいのしごとや生活のやくに立つから



勉強が将来や実生活に役立つと感じている児童が、93.9%と高い割合になっている。そこで、社会参画の意識をもって、課題に取り組む児童を育てるために、「いかす」段階で、「他市から来ている先生方に、福生市のことを紹介しよう」という活動を設定する。

11 勉強の進め方について答えましょう。



この結果から、児童は分からないことがあると、学習を持続力することが難しく、学習に取り組めない状態になることが分かる。また、難しいと思う問題でも諦めずに取り組むことができないと感じている児童が、20.4%であることから、分からないことがあると、続けられなくなることにつながっていると考えている。そこで、個人で考える時間と、友達と考える時間、相談する時間などを効果的に活用することで学習への意欲を持続させたい。具体的には、課題に対して思考する際には、「モクモクタイム」(個人学習)、「ミックスタイム」(交流学习)という二つの学習形態をとり、自分の考えをもち話し合えるようにする。このような学習を積み重ねることにより、児童が話し合う場に慣れ、学習を広げ深めることにつながると思う。

(3) 教材観

本単元で扱う福生市は、都心から西に約40km、武蔵野台地の西端に位置する人口約6万の都市である。市の西端には多摩川が流れ、豊かな自然があり、市の東側には米軍横田基地があって、異国のような街並み・個性豊かなお店がたくさんある。また、江戸時代から続く二つの造り酒屋や蔵のある旧家が多く残り、福生十景の一つ「南稲荷神社付近」は、市指定天然記念物の大ケヤキと赤い鳥居が見どころとなっており、歴史に触れることができる街でもある。本小単元では、このような自然、文化、歴史に触れることで、福生市に対する誇りと愛情を育むことができるようにしていく(参照：福生市公式ホームページと福生市観光協会ホームページ)。

5 研究主題との関連

(1) 研究主題

学びに向かう力を育むための指導の在り方を考える
～「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析を通して～

(2) 研究主題を受けた目指す児童像

○自らの学習を調整しながら、粘り強く、課題に取り組むことができる子

【学びに向かう力が育成された児童の姿】

ア 課題に対して試行錯誤しながら諦めずに取り組むことができる。

イ 課題に取り組む際に、自分である程度の見通しをもって取り組むことができる。

(3) 目指す児童像に迫るための研究仮説

「児童・生徒の学習に関するアンケート」から、児童の実態を把握し、実態に適した学習内容を工夫することで、児童が主体的に学習に取り組むようになるであろう。

(4) 目指す児童像に迫るための具体的な手だてと、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

【未来像を予測して計画を立てる力】

- ・学習計画表を常に掲示し、学習問題解決に向けて、形成的に知識を獲得させる。
- ・振り返りでは、学習問題に対する自分の思いや、自分の願いを書かせる。教師がコメントを書き、次時の導入で振り返りの内容を紹介する。

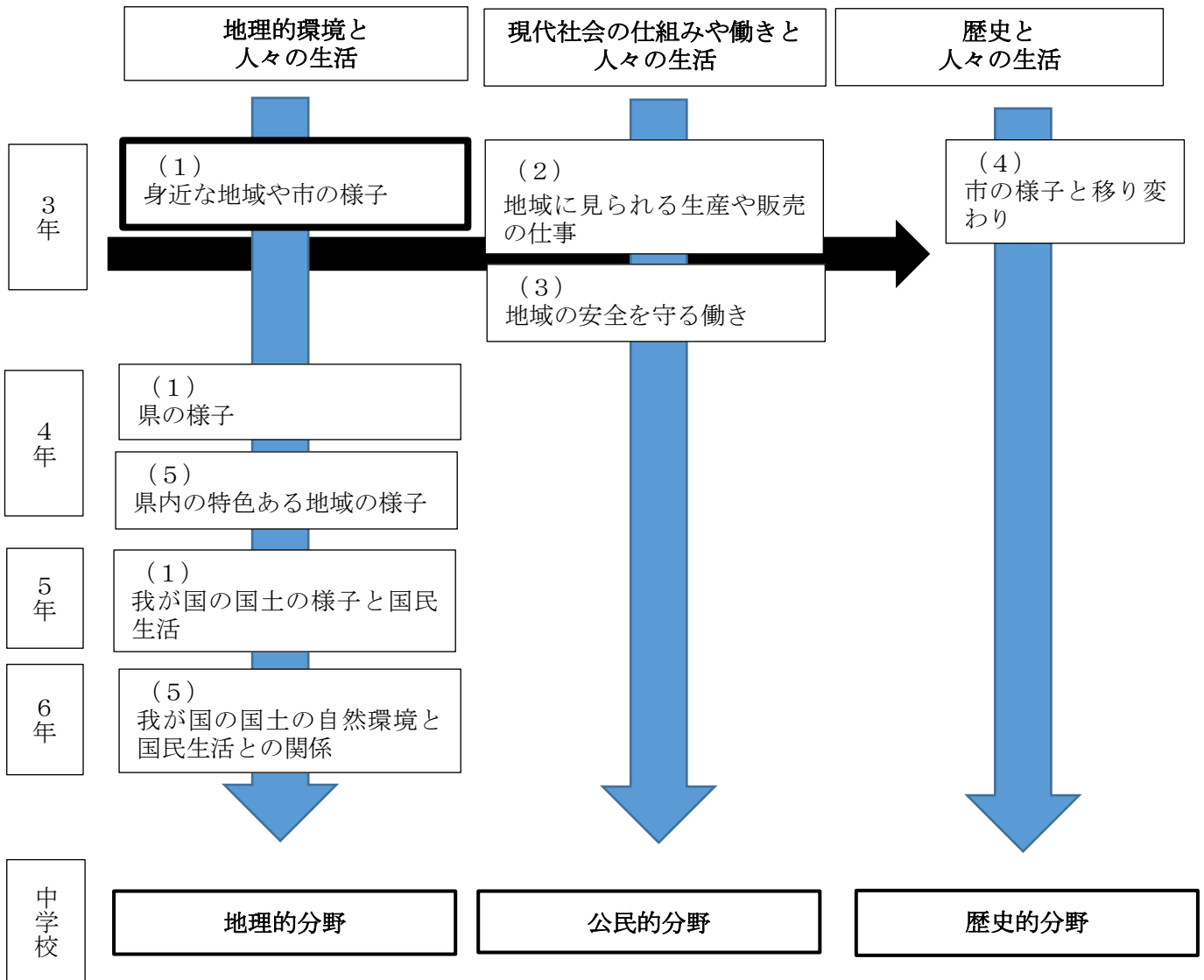
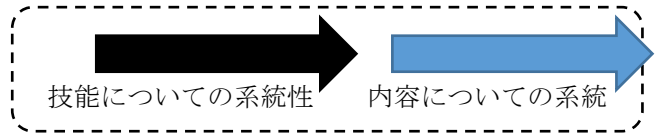
【コミュニケーションを行う力】

- ・追究意欲をもって学習に取り組める課題を設定したり、一人学びの時間を十分に確保したりして、他者に伝えたいと思うような気付きをもたせる。
- ・協働的に解決していく課題を設定し、グループで積極的に意見を出し合いながら、共感的に課題を追究することができるようにする。
- ・「なぜなら～」などの話型を示し、資料を基に自分の根拠を相手に伝えることができるようにする。

【すすんで参加する態度】

- ・地域の活性化に携わる人々の苦勞について知り、自分なりの思いをもってすすんで地域に関わろうとすることができるようにする。
- ・地域にすすんで関わることによって、それらの人々がウェルビーイングを高めていることに気付き、生活を豊かにしていこうとする気持ちをもつことができるようにする。

6 年間指導計画における位置付け



7 小単元の指導計画と評価計画 (12時間扱い)

過程	時	目標	主な学習活動 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 *資料	◆評価規準 (評価方法)		
					ア	イ	ウ
調べる	1	高いところから市の様子を観察し、東西南北を意識して市の様子を絵地図に表すことを通して、市の様子について調べる意欲をもつ。	○生活科での「まちたんけん」での経験を振り返る。 ○学校の屋上からの写真を見て、絵地図に表現する。 福生市は、どのような様子なのだろう。	☆東西南北ごとに比較することによって、違いに気づき、調べる意欲をもてるようにする。	① (ワークシート)		① (発言)
	2	学習問題の解決に向けた追究の視点を基に学習計画を立て、問題解決的な学習の進め方を捉える。	○福生市には、どのようなものがあるのか予想する。 ○調べるべきことを出し合い単元の学習計画を設定する。	*福生市の白地図 ☆自然や文化、自然、古いものなどに分類する。 ☆クラゲチャートにまとめる。		① (発言・ノート)	

	3	土地の使われ方には場所によって違いがあることを理解する。	○写真や地図などの資料を基に福生市の土地の使われ方について調べる。 ○土地の使われ方について、分かったことをまとめる。	*副読本 p 12 「土地の様子」 *福生市の白地図 ☆自然の保護・保全の視点し、市役所の働きに着目させる。	① (発言・ノート)		
	4		○横田基地や国道16号がどの福生市のどの位置にあるか捉える。 ○横田基地や国道16号の周辺にあるお店について調べる。	☆福生市の高いところに横田基地があることを捉える。 ☆横田基地があることを生かしたまちづくりをしていることに気付くことができるようにする。	①(発言・記述)		
	5	市の古くから残る建物の分布を理解する。	○福生には、どのような古い建物があるのか話し合う。	☆前時までの学習を生かして、低い土地の場所には自然が多いことと関連付けて考えることができるようにする。	① (発言・ノート)		
	6	東京都における福生市の位置を理解する。	○福生市はどこにあり、また、どのような場所にあるか話し合う。	*福生市の地図 *幹線道路図 ☆隣接する6つの市と1つの町について捉える。	① (発言・ノート)		
	7	市の交通の広がりを理解する。	○写真や地図などの資料を基に路線図について調べる。 ○福生市からのバスの路線図について調べ、分かったことをまとめる。	*福生市の地図 *福生市の路線図 ☆観光だけではなく、住民のために、交通網ができていることに気付く。	① (発言・ノート)		
	8	市の公共施設や場所や働きを理解する。	○写真や地図などの資料を基に市の公共施設の場所や働きについて調べる。 ○市の公共施設について、分かったことをまとめる。	*共働き子育てしやすい街ランキング全国5位都内1位のランキング表 ☆6月23日(金)の市役所見学に向けて、質問内容を考えることができるようにする。	① (発言・ノート)		
まとめる	9	これまでに調べた場所の様子を見合わせ、学習問題に対する考えをまとめる活動を通して、福生市のいろいろな場所の特色やよさを理解する。	○これまで調べた福生市の特色についてまとめる。 ○学習問題に対する考えをまとめる。	☆今までの学習を思考ツールにまとめ、関係付けて考えることができるようにする。 *クラゲチャート	② (発言・ノート)	② (発言・ノート)	
いかす	10 (本時)	「先生お願いカード」に対して、これまで調べてきた内容を活用して、協働的に市の様子を考え、表現する。	○「先生お願いカード」から選んだカードの解決案を考える。 ○先生方へ発表する。	*「先生お願いカード」		② (発言・ノート)	
	11	福生市の様子について、調べたことをキャッチコピーにしてまとめる。	○どのようなキャッチコピーにするのかキーワードについて話し合う。 ○まとめたキャッチコピーについて発表し合う。	*クラゲチャートの活用		② (発言・ノート)	

8 本時（全 11 時間中の第 10 時間目）

(1) 本時の目標

「先生お願いカード」に対して、これまで調べてきた内容を活用して、協働的に市の様子を考え、表現する。

(2) 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 *資料	◆評価規準 (評価方法)
導入 10分	○これまで調べてきたことをふり返る。 ・福生市には、自然が豊かで楽しむ場所がたくさんあります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">先生方に福生市のよさについて説明しよう。</div>	☆学習計画表を使って学習内容を振り返る。	
展開 30分	○「先生お願いカード」から選んだカードの解決案を考える。 【モクモクタイム】 ・お客さんがたくさん来てくれるように、福生駅の前がいいね。 ・歴史が好きな人には、神明社がおすすめだよね。 【ミックスタイム】 ・どの意見がよさそうかな。 ・みんなの意見を取り入れながら、よりよいものにしてしよう。 ○先生方へ発表する。	*「先生御願いカード」 カード① カード② カード③ カード④ カード⑤ ☆追及意欲をもって学習に取り組める課題を設定する。 ☆グループで積極的に意見を出し合いながら共感的に課題を追求できるようにする。 ☆「なぜなら～」の話型を示し、資料を基に自分の根拠を相手に伝えることができるようにする。	◆【思考・判断・表現②】 場所ごとの様子を比較したり土地利用の様子や交通などを関連付けたりして考え、適切に表現している。(発言・ノート)
まとめ 5分	○振り返りを書く。	☆学び方について振り返りを書くよう言葉を掛ける。	

(3) 板書計画

6月15日 わたしたちのまち みんなのまち				
ねらい	市の場所にあるちがいをいかして、先生方に福生市のことについて説明しよう。			
カード①	カード②	カード③	カード④	カード⑤
・昔のたて物	・16号ぞい	・福生駅	・市役所	
・イベント	・にぎやか	・バス		

(4) 授業観察の視点

- ・先生方に福生市のよさを紹介する活動を通して、福生市のことを再確認することができていたか。
- ・児童一人一人の表現する場が設定できており、それを教師が適切に価値付けて、充実感や達成感のある授業となっていたか。
- ・児童の興味を惹き付ける学習課題となっており、児童が主体的に学習に参加していたか。